

事項	りんご心かび病の感染生態		
ねらい	心かび病菌の子室への感染時期は、7月上旬～8月下旬とされている（平成3年度指導参考資料）が、がく筒への感染は落花20日後頃の早い時期に始まり、これによる被害の一つである心腐れ症状は主に <i>Fusarium spp.</i> によって引き起こされることを新たに明らかにしたので参考に供する。		
指導内容	<p>1 りんご「北斗」における心かび病菌の感染経路</p> <p>がく片, 花卉, 雌ずい, 雄ずいへの定着 → がく筒への侵入・感染 → 子室への侵入・感染 → 発病</p> <p>開花期～落花10日後頃      落花20日後頃～      落花30日後頃～      落花50日後頃～収穫期</p> <p>落果 樹上黄化 外観健全</p> <p>2 心かび病の症状と病原菌</p> <p>①症状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— 子室かび症状：子室内のみに糸状菌が繁殖している状態。</li> <li>— 心腐れ症状：腐敗が子室部分から果肉部に進行した状態。 <ul style="list-style-type: none"> <li>— 乾腐型：コルク質状、腐敗程度は小さい。</li> <li>— 軟腐型：水浸状、腐敗部は拡大し果実表面に至る場合もある。</li> </ul> </li> </ul> <p>②主要病原菌</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— 子室かび症状：<i>Alternaria sp.</i>, <i>Fusarium spp.</i></li> <li>— 心腐れ症状 <ul style="list-style-type: none"> <li>— 乾腐型：<i>Alternaria sp.</i>, <i>Fusarium spp.</i></li> <li>— 軟腐型：<i>Fusarium spp.</i></li> </ul> </li> </ul>		
期待される効果	心かび病の新知識の提供		
利用上の注意事項	防除重点時期は開花期～落花10日頃と考えられるが、十分な防除効果を得られる殺菌剤はない。		
担当	青森県りんご試験場 病虫肥料部	対象地域	県下全域
発表文献等	日本植物病理学会報 第62巻第6号（平成8年） 日本植物病理学会報 第64巻第4号（平成10年）		

【根拠となった主要な試験結果】

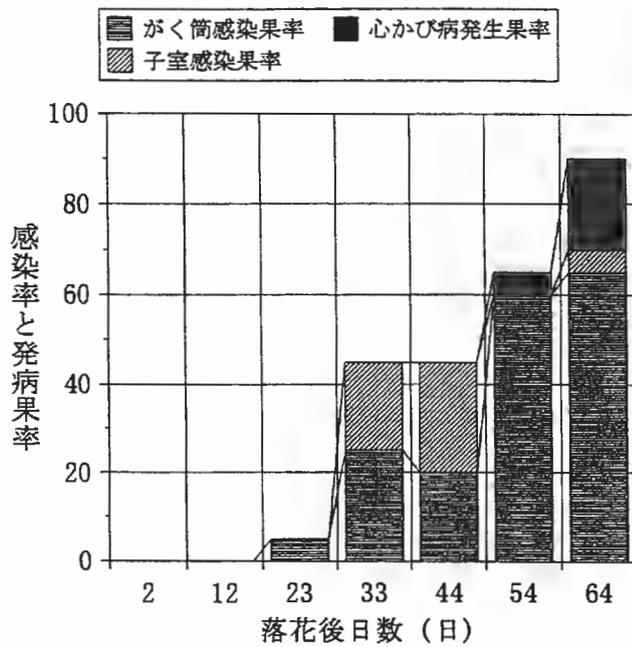


図1 心かび病菌の果実感染時期 (青森りんご試 1997)

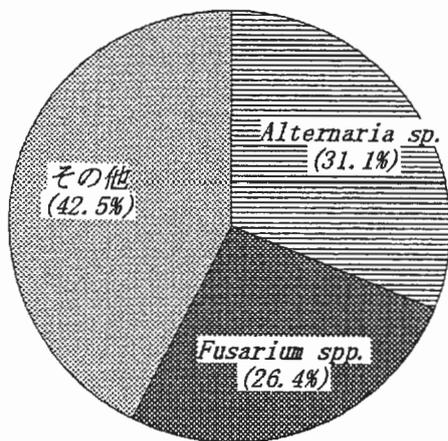


図2 乾腐型腐敗より分離された菌の種類 (青森りんご試 1997)

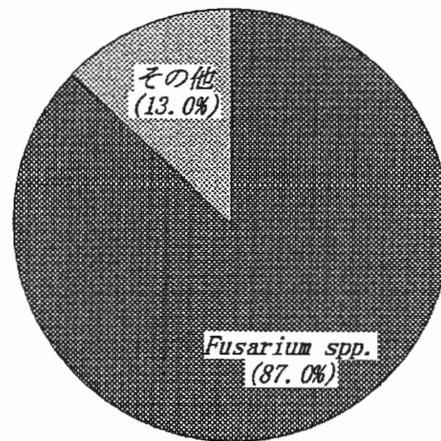


図3 軟腐型腐敗より分離された菌の種類 (青森りんご試 1997)